

## 第28回まちづくり審議会

【日時】 平成26年4月22日（火） 13時30分～15時10分

【場所】 市役所5階第1委員会室

【出席者】（まちづくり審議会委員）

山崎 仁朗委員、品川滉彦委員、小西澄子委員、山本尚三委員、  
山口征雄委員、山口珠美委員、恵土卓委員、伊藤栄一委員、平野  
昌子委員、奥田愼太郎委員、斎藤友次委員、山内直子委員

まちづくり審議会委員 12名

（事務局）西田清美市民部長、坪内豊地域振興課長、  
遠藤文彦自治振興係長、田中圭一同係主査、  
吉田拓矢同係主事

【資料】

- 会議次第
- まちづくり審議会委員名簿
- 協働のまちづくり事業の評価及び提案について（諮問）
- 資料番号1-1 協働のまちづくり事業（若葉台高齢者ささえあい事業）の平成25年度事業の自己評価書
- 資料番号1-2 協働のまちづくり事業（若葉台高齢者ささえあい事業）の平成25年度事業の行政自己評価書
- 資料番号1-3 協働のまちづくり事業（若葉台高齢者ささえあい事業）の平成26年度事業提案書
- 資料番号1-4 協働のまちづくり事業（若葉台高齢者ささえあい事業）の平成26年度事業提案に対する市の意見
- 資料番号2-1 協働のまちづくり事業（下恵土地区安全・安心まちづくり事業）の平成25年度事業の自己評価書
- 資料番号2-2 協働のまちづくり事業（下恵土地区安全・安心まちづくり事業）の平成25年度事業の行政自己評価書
- 資料番号2-3 協働のまちづくり事業（下恵土地区安全・安心まちづくり事業）の平成26年度事業提案書
- 資料番号2-4 協働のまちづくり事業（下恵土地区安全・安心まちづくり事業）の平成26年度事業提案に対する市の意見

## 1. 開会

### 事務局

皆様には大変お待たせをしまして申し訳ありません。ただ今から第 28 回まちづくり審議会を始めさせていただきます。はじめに市民部長がご挨拶申し上げます。

### 市民部長

あらためましてこんにちは。本日は大変お忙しい時期にまちづくり審議会にご出席いただき誠にありがとうございます。当方からの会議の開始時間通知が誤っており、大変申し訳ありません。深くお詫び申し上げます。第 28 回まちづくり審議会においては、2つの協働のまちづくり事業についてご審議いただきたいと思っております。

本日は、若葉台高齢者ささえあい事業と下恵土地区安全・安心まちづくり事業の平成 25 年度の事業評価と平成 26 年度の事業提案について、可児市まちづくり審議会へ諮問させていただきます。本日は、よろしく申し上げます。

### 事務局

続きまして審議会長からごあいさついただきます。

### 会長

みなさんこんにちは。お忙しい中お集まりいただきまして、ありがとうございます。早速ですが、市から諮問を受けた案件について、議論をしていきたいと思っております。皆様より忌憚のないご意見を頂戴できればと思っております。また、スムーズな議事進行を心掛けて進めてまいりたいと存じますので、みなさまのご協力をいただければと思っております。よろしく願いいたします。

### 事務局

ありがとうございます。まちづくり審議会の運営につきましては、過半数出席で成立となります。本日 14 名の審議委員のうち 12 名のご出席をいただいておりますので、審議会は成立となります。諮問につきましては、先ほど市民部長からお話しさせていただきました、市民参画と協働のまちづくり条例に基づく協働のまちづくり事業の 2つの事業になりますので、よろしく申し上げます。それでは審議会長、進行をよろしく申し上げます。

## 2. 審議

議題 1. 平成 25 年度若葉台高齢者ささえあい事業の事業評価について  
平成 26 年度若葉台高齢者ささえあい事業の事業提案について

(若葉台高齢福祉連合会 入場)

会長

若葉台高齢福祉連合会の皆さん、今日はお忙しいところおいでいただきまして、ありがとうございます。それでは、平成 25 年度の若葉台高齢者ささえあい事業の自己評価の発表をいただきたいと思います。

(若葉台高齢福祉連合会 配付資料に基づき説明)

会長

ありがとうございます。次に市から平成 25 年度事業の行政自己評価の説明をお願いします。

(事務局 説明)

会長

ありがとうございます。続きまして、平成 26 年度の事業提案についてご発表いただきたいと思います。

(若葉台高齢福祉連合会 配付資料に基づき説明)

会長

ありがとうございます。ただ今の平成 26 年度事業の提案に対する市の意見の説明をお願いします。

(事務局 説明)

会長

ありがとうございました。それでは、ご質問等がありましたらお願いします。

A 委員

若葉台の取り組みは、非常に高い評価がされていると思います。他の地域でも同じような活動をしたいという声も多くお聞きします。ぜひ、その取り組みについて参考にさせていただいて、他の地域にもご指導いただけたらと思います。

す。

#### 若葉台高齢福祉連合会

ありがとうございます。私どもの場合は、大型団地モデルということですが、一般の地域においても、考え方においては適用できる部分も多くあろうかと思えます。岐阜県のモデル事業となった関係で、そちらからのご紹介もあってか県内、県外の市町からの視察や講演の依頼なども来ております。内容としては、行っている事業の紹介のみならず、地域の人材をどう活性化していくかというしくみづくりの部分を中心に話しをさせていただくことになるかと思えます。

#### B委員

2点お聞きします。大変多くの方に利用されてみえるということですが、利用者が限られる、固定化してしまうといったことはないのでしょうか。ないということであればどのような工夫をしてみえるのでしょうか。

もう1点目としては、他所の事例においては本当にサービスが必要な人にその人がそういった場に出て行けないなどの理由により孤立し、サービスが届かないといった現状がみられるのですが、若葉台においてはそういったことはないのでしょうか。

#### 若葉台高齢福祉連合会

福祉のニーズというものは種類が非常に多く、1つの事業ではなかなか受けきれないと思えます。そこで、私どもでは手広く多数の事業を行うことで受け皿を広くするように努めています。年齢層によりニーズは異なるので、70歳代のかた向けの催し、80歳代のかた向けの催しなど利用者層にあわせた事業を展開しております。間口を広くすることで、地域においてあそこに行けばいろいろなサービスを行っているから大丈夫という安心感が生まれることが重要であると思えます。その安心感が在宅介護や老々介護でもやっていけるという自信につながっていけばと思えます。

また、完璧にはできませんが間口を広くしてなんでも受けるということは、介護事業者でもなく行政でもない我々でないとできない部分かと思えます。

2点目のご質問については、なるべく出てきやすいように送迎サービスもつけています。それでも拒絶される人もいます。ただし、見守りだけはできます。そういう方に限って切羽詰まった時には、急に助けてほしいということになりますが、その時には対応する、受け入れるところは作ってあるということです。

#### 会長

ありがとうございます。他にご質問はございませんか。

#### C委員

若葉台の取り組みを他の団地へも広げていくことが大事であると思うが、和みの会などで若葉台以外のかたが、サービスを利用されることはあるのでしょうか。

#### 若葉台高齢福祉連合会

市の補助金が入っているサロンなどについては、団地の人限定となっている。

#### C委員

近隣の団地の人などに参加を呼び掛けていく取り組みをしていただくと、広がっていくのではないかと思う。

#### 若葉台高齢福祉連合会

自治会との関係もあるので、自治会員以外の受け入れをしようとする自治会の合意が必要である。

#### 若葉台高齢福祉連合会（若葉台自治会長）

自治会員に対して、やれることをどの程度やれているのかということもある。自治会としては、まずは自治会員に十分にサービスをやっていくことが第一に考えていくことになる。

#### D委員

若葉台の取り組みは、自治会、行政、民生委員などが協力することで成り立っているのではないかと思う。若葉台は限られた人だけでなく、多くの人に利用がされている。これは素晴らしいことだと思う。

#### E委員

イベントを行う際には、連絡所をお願いしてもらえば、一定の規模であれば消防団の出動を要請することもできる。

#### 会長

ありがとうございます。他になければこれで若葉台高齢福祉連合会の皆さんには退席していただきます。ありがとうございました。

(若葉台高齢福祉連合会 退場)

会長

それでは、審議に移りたいと思います。皆さんからご意見を頂きたいと思いますがいかがでしょうか。

F委員

事業を行っていくうえで、始めた人たちの後の世代に引き継いで継続していくということは大変難しいことである。自分にとってのメリットや必要性が感じられないとそこへなかなか踏み込めないということがあろうかと思います。後継者、担い手を育てていけるようないいシステムを作っていっていただければと思います。

会長

本事業については、高く評価できるものであると思いますし、引き続き一生懸命やっただけのものだと思いますので、このまま事業を進めていただければという形でとりまとめさせていただければと思います。

また、市におかれましては、本事業は予算的には厚い支援をするという形にはなっておらず、自己財源で動いておられる団体でもありますので、金銭的な面以外でのサポートをお願いしたいと思います。

それでは、若葉台高齢福祉連合会についてはこれで審議を終えさせていただきます。

議題 2. 平成 25 年度下恵土地区安全・安心まちづくり事業の事業評価について  
平成 26 年度下恵土地区安全・安心まちづくり事業の事業提案について

(下恵土自治連合会 入場)

会長

それでは、下恵土自治連合会の皆さん、今日はお忙しいところおいでいただきまして、ありがとうございます。それでは、平成 25 年度の下恵土地区安全・安心まちづくり事業の自己評価の発表をいただきたいと思います。

(下恵土自治連合会 配付資料に基づき説明)

会長

ありがとうございます。次に市から平成 25 年度事業の行政自己評価の説明をお願いします。

(事務局 説明)

会長

ありがとうございます。続きまして、平成 26 年度の事業提案についてご発表いただきたいと思います。

(下恵土自治連合会 配付資料に基づき説明)

会長

ありがとうございます。ただ今の平成 26 年度事業の提案に対する市の意見の説明をお願いします。

(事務局 説明)

会長

ありがとうございました。それでは、ご質問等がありましたらお願いします。

A 委員

今渡南小の子どもたちの声を聞く機会があるが、見回り隊の活動を子どもたちも本当に喜んでいきます。

G 委員

下恵土地区という広い地域でどのようにまとまっていくのかと思っていたが、地域の安全マップができたということは、その土台がまず出来たのではないかと思います。不審者よけのプレートも目にするようになったが、地域に根付いているのではないかと思います。住民の意識も上がってきており、この事業をずっと続けてほしいと思います。

B 委員

2 点お聞きします。見回り隊、見守り隊の隊員の拡充をしたいというなかで、強制ではないとのことですが、増やしていくにあたってのコツみたいなものがあれば教えていただきたいと思います。

井戸端会議を推奨したいということで、ベンチを設置されるとのことですが、費用はかかるかもしれませんが、同じものを設置するのではなく、各自治会でそれぞれにあったもの、アイデアを出してもらったほうが、主体的、積極的に取り組んでもらえると思います。

#### 下恵土自治連合会

増やすためには口コミが一番であると思います。そのために地区の公民館まつり、運動会などのイベントにおいて、見回り隊のベストの現物を見せて話しをするなど、働きかけをしています。回覧板で何度も回したり、自治会の役員が交代した際には改めて話しをするなどしています。

#### B委員

下恵土地区は、新旧の住民が混住している地域であると思いますが、見守り隊や見回り隊は、その新旧を問わずみなさんが参加しているということでしょうか。

#### 下恵土自治連合会

はい。みなさんに参加していただいております。参加しているのは希望された方だけですが。

#### F委員

学校と連携して、通学団ごとにその地域の見守り隊の方と交流する場を設けたり、勤労感謝の日に子どもたちが、見守り隊、見回り隊の方に感謝の気持ちを伝えたりすると、やっていただく方のやりがいになるのではないかと思います。

#### H委員

保護者の方にも声をかけてという話がありましたが、保護者の方は勤めをされていたりしてなかなか時間がない場合が多いと思います。自治会の仕事がPTAのほうに回ってきてしまってどんどん仕事が増えていくという状況もあるかと思います。保護者も本当はやればいいのですが、できれば時間に余裕のある年配の方が中心となってやっていただけたらと思います。

また、子どもたちもそういったことをしてもらったという体験が、自分たちが大人になった時に、そういった活動をしてもらえるのではないかと思います。

また、こういった活動が他の地区にも広がっていくような活動もしていただけるとよいと思います。

## I 委員

子どもが学校に行っているような親世代はみなさん忙しいと思います。今は子どもが減ってそれに関わる大人、お年寄りも段々いなくなる。そういった社会情勢の中で、見守り隊を存続するのに大変な時代になっていくのではないかと思います。つてを頼って見守り隊を作るのか、自治会を通じて特別な努力をしていくのかといったことがこれからの課題になってくるのではないかと思います。

## 会長

他にご意見、ご質問はございますか。なければこれで下恵土自治連合会の皆さんには退席していただきます。ありがとうございました。

(下恵土自治連合会 退場)

## 会長

それでは、審議に移りたいと思います。皆さんからご意見を頂きたいと思いますがいかがでしょうか。

## C 委員

25年度は市からの助成を受けていたが、26年度はすべて自己財源となっている。団体の説明のなかで市からの助成が期待できないような感じを受けたがどうなのか。

## 事務局

市としては、3年間の協働のまちづくり事業が終了した後のことも含めて、自立して行っていくことを見据えて進めていただきたいというお話はさせていただいています。その中で、26年度は自己財源で事業を行っていくという形にされたものとして認識しています。

## 会長

他にご意見はございますか。なければ、下恵土地区安全・安心まちづくり事業については、よくやっただけだということ引き続き頑張ってくださいということで当審議会の意見としてまとめさせていただきます。それでは、下恵土自治連合会についてはこれで審議を終えさせていただきます。

事務局

確認ですが、本日の審議内容で非公開情報の確認をさせていただきと思いますが、非公開とすべき内容はありましたでしょうか。

(該当なし)

該当なしということで、公開させていただきます。長時間にわたり丁寧にご審議いただきありがとうございました。

(閉会)